

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 安住作成日: 平成 30 年 4 月 12 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーとして、地域代表や家族、民生委員の参加を得ているので、報告会で終わらずに、地域の課題について話し合い、地域と協力して問題解決に繋がる会議運営を目指していく。	複数の民生委員や薬剤師、交番の警察官、地域の有識者、知見者に参加を募り、高齢者の問題や地域で困っている課題等を話し合い、参加委員が協力し、解決に向けて取り組み、会議に参加することで、知識や情報を得て、地域貢献に取り組む関係を構築していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年3回、避難訓練を行い、うち1回は消防署の協力や指導を得て実施しているが、自主防災組織での訓練を行い、夜間想定で夜勤者が9名の利用者を短時間で避難場所に誘導出来る体制を構築していく。	夜間を想定して、夜勤者1名で利用者全員(9名)を、短時間で避難場所に誘導出来るように、職員が自信つくまで繰り返し訓練を行い、非常時に夜勤者が自信を持って対応出来る体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。